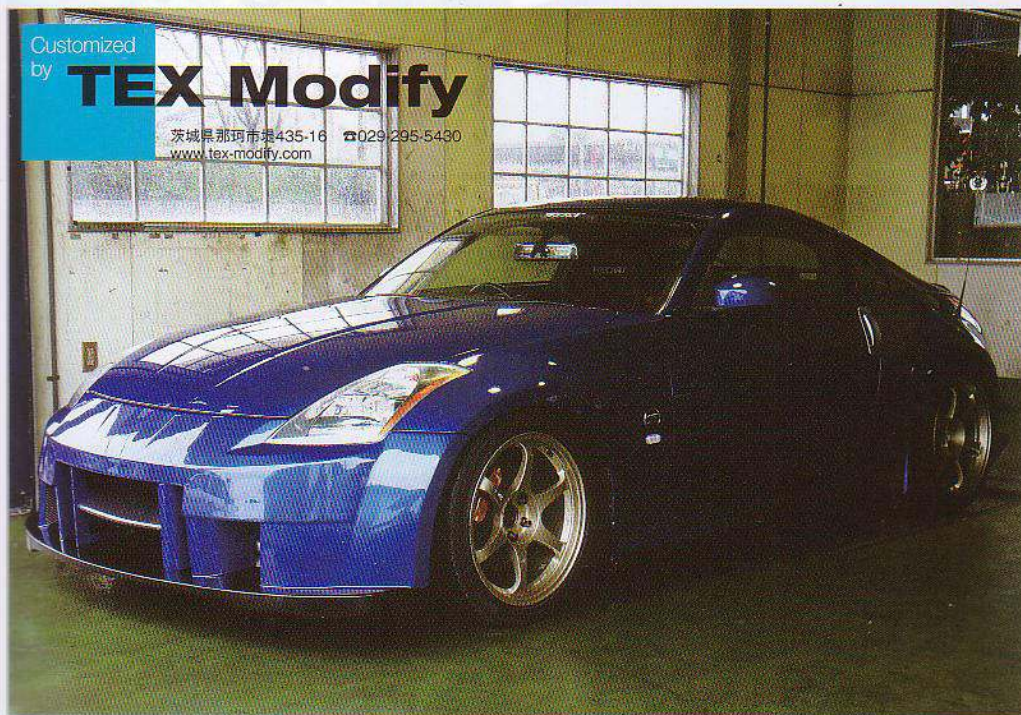


オリジナルパーツを豊富にそろえ Z33チューニングを展開!



**HKS GT-S / Cキットで
全球レスポンスをねらう!**

テックスモディファイといえは、ドラッグマシンなどのハードチューニングをメインに行っているシヨップといったイメージが強い。ところがエンジンチューニングばかりでなく、オーディオやサスペンション、車検など車両全般に関してトータルで対応するというのが大木代表の考えだ。

Zに関してはかなり以前から力を入れている車両のひとつで、訪れるユーザーも多い。そのなかの一台が今回紹介するZ33だ。Z33の場合、い

くつかのバタインがあるが、吸排気系のファイナチューンがいちばん多い。どちらかといえは、エンジン本体に手を加えることなく補機類によってパフォーマンスアップを行うため、選択肢はターボもしくはスーパーチャージャー(S/C)になる。

このZ33の場合はHKSのGT-S / Cを装着することによって全球でのレスポンスとトルク特性を高めている。GT-S / Cの場合、駆動ロスが少なく高回転まで気持ちよく吹け上がついていく特性が、大木代表も気に入っている点。
セッティングはHKSのFコンV

SPEC

VQ35DEエンジン本体ノーマル/HKS GT スーパーチャージャーキット、センターパイプ/フジツボスーパーTマフラー/オリジナル車高調整サスペンションキット(12kg/mm&10kg/mm)/プログレスGTコンセプトエアロキット/Z33用メーターパネル/SSRタイプC9.5&10.5J×18/アドバンネオバAD07 245/35-18、265/30-18



プロでいわれ、ストレスなく回せるように燃料や点火時期を制御している。インバクトのあるエクステリアは、テックスのオリジナルブランドである、プログレスフルエアロのGTコンセプト。フロント、サイド、リアアンダーで構成され、フロントバンパースポイラーはウイングパターションと呼ばれる仕切りで空力効果を高めると同時に冷却性能も高めている。
またフロントとサイドは下部を覆うように設計され、ボディ下面の空気の流れをコントロール。ダウンフォース効果を少しでも得られるようになってるのが特徴だ。



フロントのバンパースポイラー下面は、純正のアンダーパネルにつながるように設計され、いっそうのダウンフォース効果をねらった。



シートはレカロのTS-Gツーリングが装着され、ハードな走行でもしっかりと体を支えてくれるようにセットアップされている。

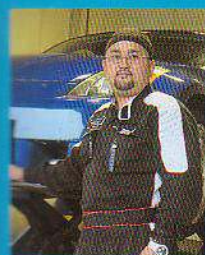


オリジナルのメーターパネルは3連タイプのほか、4分の1 DINサイズの各種コントローラーが収まるように設計されている。

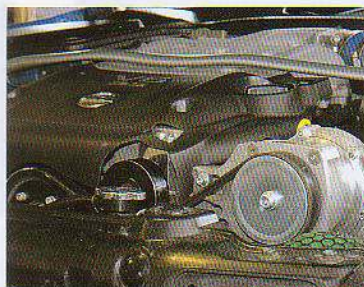


テックスモディファイのオリジナルブランドであるプログレスバンパースポイラーから見えるのは、フジツボ製のスーパーTマフラー。

クルマに関することなら、なんでも相談に乗ってくれる!



「トータルチューニングがワチのモットーです」。ハードチューニングばかりでなく、オーディオからサスに至るまで要望に合わせたセットアップが得意と大木代表は話してくれた。



HKSのGTスーパーチャージャーが装着されて、全球のトルクとレスポンスを高める。エンジン本体がノーマルでも370馬力を発生させる。



エアアウトレットが設けられたサイドステップもボディ下部まで覆うように設計され、整流効果を高める形状となっている。